

藤沢市立明治中学校経営の具体的方針

＜公立学校の普遍的なテーマ（普遍的な共有事＝立ち戻れるもの）＞

誰もが安心して学べる学校を創る ～「誰一人置き去りにしない」～

＜テーマを目指す上での共通理解＞

- ・「生徒」・・・社会の中でよりよく生きていける人材に育成する
- ・自ら考え 自ら判断し 自ら決定し 自ら行動する資質を養う
- ・生徒・保護者・地域・関係機関との「連携」（ともに学び ともに育つ）

＜明治中学校＞

＜学校教育目標＞

「ひとものことと豊かに関わりながらたくましく生きる生徒の育成」

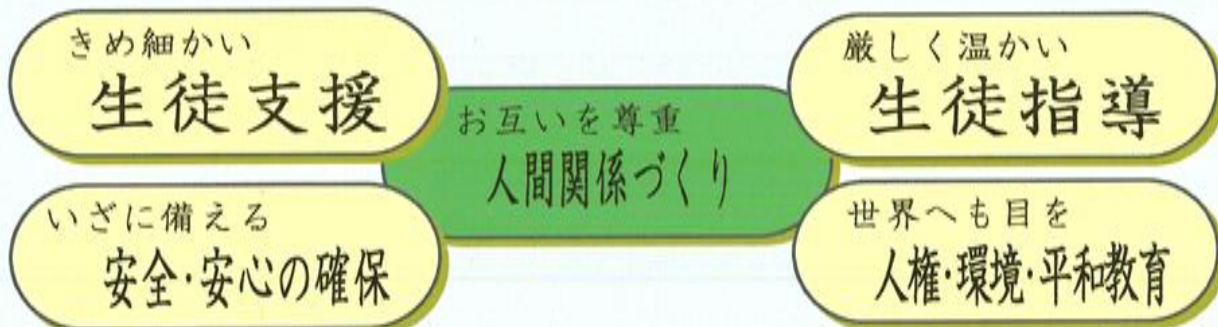
- ・自ら進んで学習し自分で考え行動する生徒 Action
- ・人としっかりコミュニケーションできる生徒 Communication
- ・自分を尊重すると同時に他の人も尊重する生徒 Respect

* 生徒を育てているのは学校だけ学年だけ担任だけではない。（共有）

* 「誰一人置き去りにしない」（共有）・・・手段（個別）最適化を考えて見る。

- ①自分の個性を伸ばし 主張できる
- ②他者の個性を受け入れ 他者を尊重できる

＜実現のための【合言葉】＞「自分も 人も 大切に」



＜手立て＞

寄り添い育てる場

- ・学級活動
- ・清掃活動
- ・教育相談

居場所となり学びのある授業

- ・教科
- ・道徳
- ・総合的な学習の時間

活躍・成長の場

- ・行事
- ・生徒会活動
- ・部活動

＜チーム学校として＞

- ・一人ひとりの役割の自覚とチームワーク
- ・専門家としての教職員の学びと志
- ・組織での動きと、報告・連絡・相談、引き継ぎの確立
- ・「協同学習」と「学びの個別化（もう一つの個別最適化）」探究

重点目標「育てたい生徒像」

「自分も人も大切にできる生徒の育成」
「自分を成長させることができる生徒の育成」

1. 自分の個性を伸ばし主張を持てるようにする。
2. 他者の個性を受け入れ、他者を尊重するようにする。
3. 合意形成を目指し、はかれるようにする。（民主主義を理解）
「共有できる柱を持つ」・・・（柱：誰もが安心して学べる学校を創る）
4. 自ら考え 自ら判断し 自ら決定し 自ら行動する資質を養う

*学校・家庭・地域・関連機関との連携し、チーム学校づくりを推進する。

《重点項目》

1. 教育課程の完全実施
◎授業づくり（年間授業計画の実践・指導法の工夫・言語活動の充実）
◎道徳授業の充実
◎学習評価の客観性、公平性、信頼性を高める取り組み
（評価規準・基準・目標に準拠した評価・評定、評価情報）
2. 支援教育の充実
◎職員研修 ◎支援会議の充実 ◎担任・学年・学校の関わりと関係機関との連携
3. 保健衛生・安全教育・防災教育
4. 地域・学校間連携事業の推進
5. 情報モラル教育の推進

《学校経営》

- 1, 学校教育目標の理解と実現
- 2, 「授業力」をつける
・・・指導法の工夫・改善（基礎・基本の定着と「協同的な学び」の実践）、指導と評価の一体化、年間指導計画、「明中スタンダード」の推進
個に応じた指導の工夫(誰も 明確な やることがある「個別最適化」)
- 3, 「経営力」を高める
・・・学年・学級経営の充実、組織的積極的な生徒指導、個に応じた生徒支援、予防的援助的な学級・学年風土づくり、いじめ防止の推進
- 4, 「組織力」を強化する
・・・縦と横の情報の共有化と協働・連携(学年、生徒指導・支援、防災、研究)
- 5, 「生活力」を身につけさせる
・・・豊かな心を育む教育の実践（自分も人も大切にできる生徒）、ひと・もの・ことと豊かに関わりながら生きる力を育成(集団生活で人間関係形成)
- 6, 支援教育の充実
・・・教育相談コーディネーターを中心とした体制の充実、SCとの連携、特別支援非常勤講師・介助員・学習支援員の活用・ケース会議の開催
- 7, 保健衛生と安全教育の実践・・・健康・安全・防災教育
- 8, 地域との連携・・・A C T、各種地域行事、小中連携、ボランティア活動
- 9, 進路指導体制の充実・・・進路相談 面接指導(全校体制)、進路事務 情報整理
- 10, 現職教育
(1) 個人情報の管理・・・指導資料、データ管理、情報処理力の向上、
(2) 教職員の研究・研修体制・・・事故防止会議、研究・研修体制、
O J T研修、説明責任、リーダー育成、特別支援
(3) 教師の生徒指導力・生徒支援力・道徳指導力の育成
- 11, 生徒会活動の活発化・・・生徒会委員会、部活動、行事への取り組み。